

MWWM

Vol.02
since 2020

MSD Wellness Magazine For medical market of the world

Are you ready?

YOHEI TAKADA

高田 洋平 USA : FuncPhysio FuncBiz 代表

世界のビジネスを牽引するNYから届ける、
日本の医療従事者へのメッセージ
医療マーケットはこれからのマーケット
多くのビジネスチャンスが生まれてくる。

高田
洋平



Doctor of Physical Therapy
active in U.S.A.

Yusaku Takada

世界のビジネスを牽引するNYから届ける、

高田：高田 洋平 / 増田：MSD代表 増田勇樹

【自己紹介】

増田：まずは簡単に自己紹介をお願いします。

高田：ニューヨークでフィジカルセラピストをしている高田洋平です。ニューヨークにはPTの学校に15年ほど前に来てからそのまま居続けています(笑)。

現在はマンハッタン・ミッドタウンにあるFuncPhysio Physical Therapyというクリニックを運営しています。

増田：高田さんが、PT(理学療法士)になろうとキッカケを教えてください。

高田：PTになろうと思ったのは23歳ぐらいの時でした。高校卒業後スポーツに携わる中で多々怪我をした経験からスポーツ選手達を支える仕事をしたいと思ったのがきっかけです。

増田：アメリカでご活躍されている高田さんですが、そもそもアメリカに行こうと思ったのはなぜですか？

高田：元々日本ではハミ出し者だったので、どうせ海外を見るのであればスポーツリハビリで一番進んでいると言われていたアメリカに行こうと思いました。

と言っても英語以外は全く知らなかったので英語圏以外は流石に

チョイスになかったですね。

PTの道を選んだ時、日本でスポーツリハビリ分野やフィジカルセラピーなども考えたのですが、その当時(90年代)日本のスポーツリハビリ、トレーニング分野は非常に遅れていました。ですので、スポーツリハビリ分野で当時最先端と言われていたアメリカに行こうと決断したのです。25歳の時でした。

増田：現在のアメリカでのPTとしてされている活動を教えてください。

高田：現在は6人のセラピスト達とマンハッタン院とウェストチェスター院で治療、クリニック運営、地域貢献など行っています。私たちのチームは全員、徒手療法の資格やたの資格を持ち合わせた凄腕のセラピスト達なので非常に高いレベルで治療ができています。

増田：アメリカの生活について教えてください。

高田：今、私が活動しているニューヨークはアメリカの中でも特殊な街です。大都市ですので東京の生活に近いのかなと思います。また、以前大学の時に住んでいたバージニアは”the America”といった感じの町でしたね。

増田：ご家族も含め、お休みの日はどう過ごされていますか？

高田：ゴルフが好きなので時間があればゴルフに行きたいです。子供が生まれる前は毎週のように行っていました。アメリカはゴルフが手



Doctor of Physical Therapy active in U.S.A.

Youshei Takada

高田：高田 洋平 / 増田：MSD代表 増田勇樹

軽にできますしね。ただ子供が生まれてからは自分の時間を持つことは少ないです。現在は8歳と5歳の娘がいますし、我が家は共働きですのでなかなか自分の時間というのは作れないです。まあ同じ境遇の方はたくさんおられると思いますが…。それでも最近は娘がゴルフに興味を持ち始めたので家族でゴルフ場に行ったりもします。クリニックを運営してますから休日も働いていたり、講習会に参加していたりと「休みー」という時間をあまり取れていないのが現実です(泣。。。)

【仕事に関して】

増田：海外で働く中で、難しいと思った事を教えてください。

高田：言葉の壁はやはりあります。また文化的な違いもあるのでそういったところを理解しながら、さらに日本の良いところを伝えていくということは簡単ではないですね。

あと食事ですか。。。ニューヨークは幸いなことに日本食に困ることはないですが、以前住んでいたバージニアでは結構辛い時期もありましたね。バーガー、ピザ、サンドイッチ、パスタ…ああ、白米食いたー！みたいな(笑)

増田：海外で働いてよかったなと思うことをお聞かせください。

高田：アメリカで働いてよかったと思うことは、

1、学ぶ機会が非常に多い：先週もネブラスカ州で行われた講習会に参加してきました。さらにニューヨークでは毎週のように世界中から講習会が集まって開催されますので学ぶ機会が常にあります。そうした環境にいれることはよかったですね。

2、日本の良さがわかる：日本にいと日本の良さとかなり気づかずにいると思うのですが、外に出ると逆に日本の良さが良くわかります。私も「日本なんてダメだ」なんて思っていたうちの1人ですが、こうして20年近くも海外にいと日本良いところが本当に実感します。自国の文化や慣習が素晴らしいなと思えるのは幸せなことです。

3、PTとして自由度が高い：アメリカの医療システムは日本より横社会です。ですので大病院などで働いていてもPT、OT、SLPなどと医師が連携しながら働いている環境が作られています。また個人でスポーツ機関や学校機関などで働いたり、開業したりと色々活躍の場が広いことは良いです。

増田：収入面での変化、アメリカのPTの年収などを教えてください。

高田：私のクリニックのセラピストたちの年収はボーナスを入れて1000万から1400万の間でしょうか。経験年数からいうとアメリカでもかなり高い給料帯に入ると思います。しかも週35セッションという少ない治療枠なので働く環境としては最高だと思います。ただうちのセラピスト達のレベルは半端なく高いですよ(笑)

増田：海外で働く為に、必要な事とは何だと思えますか？

高田：手続的なことを話すと長くなるので、もし興味がある方は連絡をください。

また、日本の資格を移行しようとする英語力はかなり高いレベルで求められます。

簡単なことではないですが「やる気」があればできると思います。



高田：高田 洋平 / 増田：MSD代表 増田勇樹

増田：具体的に仕事の中で必要とする手技や知識は何でしょうか？

高田：私のクリニックのセラピスト達は全員徒手療法の資格をもっています。CFMT、MTC、などなど最低でも3年以上は取得にかかります。その他にも内臓系、筋膜系、神経系の手技療法の資格を持ち合わせています。先ほど話したように世界的な有名なInstituteがアメリカには出入りしているので学ぶ機会には恵まれています。知識も同じですね。協会認定のOrthopedic, Sports, Women's Healthといった専門セラピストの資格をもっているセラピストが半分以上です。

増田：クリニックを開業して経営者になろうと思ったのはなぜですか？

高田：個人で出来る限界値を感じたからです。もともと1人で訪問治療を始めたのですが、半年ぐらいで限界が来てしまいました。というのも週6-7日で働いても1人で訪問治療をやると1日4セッション、週25セッションぐらいが限界なんです。どんなに頑張ってもそれ以上は無理。それで半年経った頃から新規の患者さんはお断りするようになってしまいました。それでは20人の患者さんも救えない。。そこで場所を借りてクリニックをやろうということになりました。それでもただやはり個人でできる壁に1年ぐらいでブチ当たって、どんなに頑張っても週40セッションが限界でした。より多くの人の手助けをしたいと思っていましたが週40セッションでは一握りの患者さんしか助けられない。そう考えた時に、もっと多くの仲間を増やしてより多くの地域で、より多くの患者さんを助けられるようにする為にはどうすれば良いかと考えるようになりました。

増田：クリニックを経営する上で必要なこと、大事なことを教えてもらえますか。

高田：一言では語り切れません。一つだけ言えるとなると、失敗しても前に進めること。運営していると全てがスムーズに行くことって少ないと思います。失敗もあるし、大変な時、苦しい時もあります。そういった時に乗り越えていけることが大切だと思っています。また経営のアドバイスを受けられるコーチはいた方がいいと思います。

【苦労した事】

増田：アメリカ留学中に、特に苦労したことなどあればお聞かせください。

高田：25歳の時にアメリカに来ましたがそれまで海外に出たことすら無かったので語学には相当苦労しました。また今みたいに英語のコンテンツが日本でも簡単に手に入るという時代では無かったので生きた英語を聞く、または使う機会ってほとんど無かったです。そんな状態で大学にいきなり入ったので、授業についてくのは相当苦労しました。ほぼ毎日図書館の閉館までまで教科書とニラメッコ状態がずっと続きました。

増田：その他、アメリカで活動する中で苦労したエピソードを教えてください。

高田：色々ありますがVISAに関しては苦労しました。当時は9.11そしてリーマンショック直後ということもあってアメリカでVISA取得は厳しかったです。職場もいくつかそれで変更を余儀なくされたり、良いチャンスも見逃さないといけないことが続きました。

未来を創る医療従事者へ、Message from NY



高田：高田 洋平 / 増田：MSD代表 増田勇樹

今、うちのクリニックでもグリーンカードやH1-bをスポンサーする機会がありますが、当時よりは取得手続きは難しくないと感じています。

増田：それを乗り切る事が出来た理由を教えてください

高田：わかりません。。。(笑)。鈍感さとガムシャラ感でしょうか。

【今後の活動について】

増田：これから力を入れていく分野に関しての想いをお聞かせください。

高田：先に話したように、助けを必要としている方々に良い治療を届ける為にはどうすべきかと活動しています。その為には向上意欲も学習意欲も高く、より良い治療を届けられるセラピスト達が活躍の場を広げられるようにしたいです。その為に私に出来ることは何かと考えた時にアメリカでクリニックを運営し、その中で色々ビジネス的なことを学んだ経験を生かし、セラピストのためのビジネススクール(コーチング)をやろうと活動し出しています。以前は学んだ技術等を日本で教えようなど考えていたのですが、そうしたことは私よりも優秀な方々ができますし、私にだけ出来ることはビジネスコーチングかなと考えその活動に力を入れていこうと思っています。

増田：高田さんからみて日本のPTはどう映りますか？

高田：日本のPTは非常に窮屈な立場に置かれていると思います。日本自体が戦後のゴタゴタで外から見ると特殊なシステムになってしまっています。整体、マッサージ、ストレッチ、レイキ、などなど無資格の代替医療の乱立。そして柔道整復士という日本独自の資格などゴッチャになっていますよね。その中で学習過程や資格が一番しっかりしているはずのPTが医師の指示の元でしか働けないという窮屈なルールを敷かれている。その為、働く場所が限定されて、世間から認識も薄いといった感じに見えます。また、日本人の気質から大変真面目なんでしょうね。ルールだからといってその外に踏み出そうとする人材が非常に少ない。最近はずっと実費診療などするPTが出てきましたがまだまだ少ないですね。そうした現状に私は率直に「危機感」を感じています。

増田：日本の理学療法士の方、または学生へのアドバイスをお聞かせください。

高田：今は情報社会です。日本国内にいても海外の情報が簡単に手に入る時代です。日本国内だけに目を向けるのではなく外にも目を向けて欲しいです。「海外で働け」と言っているのではなく、海外のPTの活躍や海外の知識などに触れもっともっと日本で活躍の場を広げて欲しいです。



FuncPhysio
physical therapy

高田：高田 洋平 / 増田：MSD代表 増田勇樹

増田：今後の活動の展開を教えてください。(日本やアメリカにおいて)

高田：日本では独立してみたい！病院という垣根を超えて活躍してみたい！というセラピストのためにビジネスコーチングなどの活動を今以上にしていきたいと考えています。今以上に多くのセラピストに参加してもらおうようネットワークをつくって、全国各地のセラピストが繋がっていけば良いと考えています。もし興味のあるセラピストは連絡をください！一緒に良い社会を作っていければと思います。

増田：高田さん、貴重なお話をいくつも伺えて感謝しています。今後一層のご活躍を期待しております。また、引き続きMSDのチームメンバーとして共によろしくお願いいたします。



未来を創る医療従事者へ、Message from NY



Doctor of Physical Therapy
active in U.S.A.

Yoshiaki Takada

高田 洋平 (理学療法士 / アメリカ)

【プロフィール】

FuncPhysio(ファンクフィジオ) 代表取締役

FuncPhysio(ファンクフィジオ) New York ・東京の代表を務める傍ら、Touro 大学の整形外科理学療法学博士課程の招待教授でもあり、臨床現場で学生 ・理学療法士研修生の指導を行っている。

※『FuncPhysio(ファンクフィジオ) NY』コロンビア大学研修クリニック、Touro 大学の研修医トレーニングサイト、そして IPA/FMT 研修医トレーニングサイトとして認定されている

ヨーロッパ、オーストラリア、そして米国内で 100 以上の講習を受講し、スポーツ理学療法 / 整形徒手療法において広範囲での経験を持つ。米国有数の大学病院 (コロンビア大学病院、アルバートアインシュタイン大学病院) での勤務を経て、アスリートやパフォーマンス、一般の方々を対象にしたスポーツ系のリハビリ・トレーニング、そして整形外科的・神経学的問題を抱える方々のリハビリに携わっている。

特にゴルフリハビリにおいては自身 USGA ハンディキャップ 0 以下であり専門分野としている。TPI* 認定のゴルフフィットネスインストラクターの資格も有し、そのゴルフリハビリには PGA ツアー選手も足を運ぶ。

日本の理学療法の発展への貢献として、米国の最新治療法を日本に伝え、日本国内の理学療法士の指導を熱心に行っている。TAT Consultant LLC 代表

【資格】

- Doctor of Physical Therapy : 米国理学療法博士
- Certified Functional Manual Therapist(CFMT)
- Board Certified Orthopedic Clinical Specialist(OCS) : 米国理学療法士協会認定整形外科臨床専門医
- Board Certified Sports Clinical Specialist(SCS) : 米国理学療法士協会認定スポーツ専門医
- Certification in Advanced Orthopedic Physical Therapy (CAOPT) : 高度整形理学療法認定
- Certified Strength and Conditioning Specialist(CSCS) : ストレngth&コンディショニングスペシャリスト
- Active Release Technique(ART) Full Body 認定
- Titleist Performance Institute(TPI) : Certified Golf Fitness Instructor-Level I-III Medical Professional, Level II Junior
- Functional Movement Screen (FMS) 認定・ Selective Functional Movement Assessment(SFMA) 認定
- Graston Technique 認定
- Postural Restoration Institute: Primary courses and secondary courses

【HP】

FuncPhysio Physical Therapy P.C. www.funcphysio.com
FuncPhysio Blog www.funcphysioblog.com

未来を創る医療従事者へ、Message from NY